

平成18年度藤沢市相互提案型協働モデル事業第1次審査通過団体の状況

[市提案事業] ー 申請団体7団体のすべてが通過

① 緑地(里地里山)保全活動事業 ー 申請団体1団体

② えのしま・ふじさわポータルサイト運営事業 ー 申請団体3団体

③ 市庁舎総合窓口案内・市政情報コーナー運営事業 ー 申請団体1団体

④ 防犯対策システム運営事業 ー 申請団体2団体

※なお、市提案事業における団体名・企画概要等の公表は、10月12日（木）に行われる公開プレゼンテーション以降となります。

[市民活動団体提案事業] ー 申請12事業のうち6事業が通過

※通過団体一覧表は、次ページのとおりです。

藤沢市相互提案型協働モデル事業第1次審査通過団体一覧表(市民活動団体提案事業-6事業)

申請No.	団体名	事業名	企画概要
2	NPO法人:湘南ふじさわシニアネット	多様化するISO国際規格等の無料講習会実施事業	ISO国際規格は、従来の品質及び環境シリーズに加えて、2005年9月に食品安全、更に10月にISMS=情報セキュリティーが新たに発行された。又ISO規格ではないが、2004年3月に改訂された環境庁の国内向け環境規格エコアクション21や本年5月に改定された個人情報保護のPマークも含めると、いずれも関連する中小事業者にとってこれらの認証取得は今後の社会的ニーズに答え、更に競合他社との差別化を図る上で重要な要素と考えられ、認証取得を推進する必要がある。多様化するこれら各規格の目的とその具体的な内容を、認証取得を目指す藤沢地区の中小事業者に分かり易く解説し、今後の企業経営の参考に供する。
5	江の島みちルネッサンス推進会議	江の島みちルネッサンス事業	本事業は歴史・自然・文化・景観をテーマとして、道と家と人を一体的に考え、遊行寺から江の島への道を有機的に結び、訪れる人と迎える地域の交流を図り、美しい風景の魅力みちまちづくり市民活動です。この目的達成の為、新しい市民活動モデル・江の島みちルネッサンスを立ち上げ、推進します。本事業はまち美化に関心のある個人団体の支援を得て、行政及び各市民活動団体と連携協力しながら、平成25年を最終年とする7年計画で、①景観を壊す負の遺産を清算し、②地域資産を有効活用し、③みちの役割を復古再生し、④新たな価値を創造します。私達は市民共有の資産として、美しい景観と伝統を未来につなぎ、社会に貢献する事を理念として、活動します。
6	湘南市民テレビ局	市民ディレクター育成とWEB映像制作事業	映像制作講座の開催によって市民の視点を持つ映像の作り手(市民ディレクター)の育成を行い。NPO活動報告や観光情報・学校の取り組み・市のイベント・古文書のデジタル変換など広く映像作品を制作し、藤沢市のサイトやポータルサイト・図書館等に映像を提供する。映像制作活動を協議運営することで、映像文化を藤沢市に定着させていきます。さらに、市内の情報が即時的に映像化されてWEB配信できるシステムの構築を目指します。
7	特定非営利活動法人ふじさわNPO連絡会	「地域にカエル・プロジェクト」シニア層の地域参加への仕組みづくり事業	2007年から団塊世代の定年退職者が急増する。そうした人々の中には、地域の情報や人間関係に疎く、退職後の生き方に心許ない思いを抱いている人も多い。一方、地域の様々な分野の市民活動団体の中には、新たな地域社会の担い手として、シニア層に期待を寄せる声が多数ある。高齢社会を迎えるにあたり、シニア層が単に社会サービスの享受者としてだけでなく、自ら地域サービスの提供者として地域社会に参加することで、社会の活力が増すと同時に福祉サービスのための税負担の軽減にも繋がっていくことが期待されている。そこで、ふじさわNPO連絡会では、シニア層が保有する能力を地域の市民活動に結びつける仕組みづくりを提案する。
8	特定非営利活動法人シニアライフセラピー研究所 藤沢事務局	傾聴ボランティア育成・派遣事業	介護現場においては、「お話し相手」というものの存在の大きさは認知されているが、実際にお話し相手がいるかという点、機能していないところである。ニーズもあり、社会的な関心も高く、たくさんの民間企業が傾聴ボランティアの育成を行っているが、派遣や、フォローといったところでは、責任問題や収益性が壁があり、機能していない。近年では「認知症」「うつ病」「予防介護」が課題として重要視されている。当法人が提案したい事業は、施設、民生委員等と連携して、ある程度以上の教育を受けた傾聴(話に耳を傾け聴く)ボランティアのマンパワーを活用し、施設、在宅にいる高齢者の精神の安定をはかることである。その結果として、利用者の認知症予防とうつ病予防。ボランティア自身の予防介護と社会貢献に寄与し、人と人とが交流することにより、地域が抱える問題の早期発見、早期対応など、様々な効果が期待できる事業である。
10	鶴沼の緑と景観を守る会	松の保存・育成と解体邸宅の部材・庭園の木石の斡旋事業	鶴沼地区に残された緑と景観や歴史的建造物などを守り、鶴沼らしさを大切にしたい住民参加の環境保全、松の緑の普及活動を継続的に行い鶴沼の文化を次世代に確実に伝える。1. 松の苗木を配布し、育成を指導・促進する。鶴沼地区内に生育している藤沢市のシンボルである黒松の防虫対策講習会や日常の手入れ、高所の枝の伐採などの実施により松の保存生育を図る。保存樹木のうち、松の指定を増やす活動と手入れの補助も行なう。2. 地区内で失われていく邸宅の破棄される建物の部材、庭の木石を希望する市民に斡旋する手段(市のホームページなど)を講じ、実践する。3. 小中学生に緑化の重要性を認識させるとともに、地区内の植栽活動に参加を促す。
	合計		6団体-6事業